

無所属



市教委が目指す教職員像

業務量管理・健康確保措置実施計画

問 教育委員会が目指す教職員像を伺う。

学校教育部長 心身ともに充実して子どもたちと向き合い、誇りややりがいを持って職務に従事できる教職員像を目指していく。

問 時間外在校等時間の削減のための、数値の操作や業務の持ち帰りなどの実態をどう把握するのか伺う。

学校教育部長 数値の改ざんなどは教育の信頼を損なう行為と認識している。今後も教職員の正確な勤務実態の把握に努め、適切な勤務環境整備と業務改善を進め、過重労働の防止と教育の質の向上を図っていく。

問 時間外在校等時間が教



中央公民館休館に伴うホール機能のあり方と進捗状況

佐藤 由美子 議員

問 ホール機能のあり方方針内検討委員会の検討結果報告書で、400人程度のホール機能が必要と示された。市として文化活動をどう位置づけ、休館中の支援をどう行うのか。また、どのようなスケジュールで進めるのか伺う。

社会教育部長 大ホール利用者には、公共施設や近隣の類似施設を案内しておく

社会教育部長 大ホール利用者には、公共施設や近隣の類似施設を案内しておく

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会での取り扱いについて協議します。



会議録は5月中旬に公開

本会議や各常任委員会での質問や答弁などは、会議録にまとめて公開しています。

3月定例会の会議録は5月中旬から公開します。市議会ホームページや各地区の公民館、各図書館などでもご覧いただけます。



社会教育部長 多額な費用をかけて耐震改修を行っても、バリアフリー化などの課題が解決できないため、

このほかの質問 中央図書館、美術館の改修工

公共施設等個別施設計画

問 松原、豊田、城島各分庁舎の活用状況と用途廃止後の利活用を伺う。

企画政策部長 各分庁舎は町内福祉村や放課後児童クラブなどが利用しており、用途廃止後については未利用地等の利活用基本方針に則り検討していく。

問 県派遣のスクール・サポート・スタッフを市で採用することについて伺う。

学校教育部長 県に対して配置の拡充を要望し、効果的な活用を行っていく。他にもさまざまな立場で教職員の業務を担う人を活用し

校内教育支援センターあったか支援員

問 令和8年度から、不登校や学校生活に課題を抱える生徒への相談支援を行う「あったか支援員」を中学校に派遣するが、支援内容や役割について伺う。

学校教育部長 不登校の兆候がある生徒や、登校に向けた準備段階にある生徒に居場所の提供や学習支援、相談などを行う。生徒支援は教職員と連携して行い、ヤングケアラーなどの課題に対して、福祉と連携した支援を行う。

予算特別委員会（各分科会）の審査概要

令和8年度予算に関する議案について、3月5日から9日にかけて開催した予算特別委員会の各分科会で審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案第17号 令和8年度平塚市一般会計予算

問 財産管理費の市有財産管理事業について、旧東部学校給食共同調理場と旧北部学校給食共同調理場の維持管理や売却など、8年度の取り組みを伺う。

答 旧東部学校給食共同調理場は、現在中央図書館の事務所として活用している。旧北部学校給食共同調理場は、田村団地の駐車場修繕のために一時貸し付けを行っていたが、返還されたため、売却の方向で進めたいと考えている。

問 防災対策費の災害用備蓄拡充事業について、自助の取り組みが重要だと思うが、促進するための取り組みについて伺う。

答 自主防災組織などで行っている地域の防災訓練で、水や食料、特にトイレの備蓄について重要性を啓発している。市役所本庁舎や大型商業施設で防災グッズを展示するほか、ポスター掲示の取り組みを進めており、引き続き周知を図っていく。

都市建設

議案第17号 令和8年度平塚市一般会計予算

問 道路維持費の道路施設改修事業について、委託料が前年度と比べ増額しているが、令和7年度に路面下空洞調査は行われたのか、また、調査はどれくらいの頻度で行われるのか伺う。

答 7年度は調査を実施していない。路面下空洞調査は、平塚市幹線道路等舗装維持管理計画に基づき、おおむね5年に1度実施している。対象は、平塚市地域防災計画に位置付けのある、本市指定の緊急輸送道路補完道路や避難道路などである。

問 総合公園費の総合公園管理運営事業について、第2種陸上競技場公認の継続更新に向けた改修内容を伺う。

答 スパイクなどの使用により薄れているゴールラインの再舗装や、トラックの内側の縁石の整備、リレーのバトンを受け渡すテイクオーバーゾーンの再設置などである。

教育民生

議案第17号 令和8年度平塚市一般会計予算

問 社会福祉総務費の犯罪被害者等支援事業について、令和7年2月に平塚市犯罪被害者等支援条例が制定されてから1年が経過する。相談件数や支給実績など、支援の状況を伺う。

答 総合的対応窓口での相談はゼロ件で、支援に関する窓口での相談は3件あった。支給状況は、支援金が2件と日常等生活支援の配食サービスの2件を支給した。

問 子ども教育相談センター費のスクールカウンセラー派遣事業について、8年度の派遣人数を伺う。

答 7年度と同様に、本市では13人の雇用を予定している。県のスクールカウンセラーの派遣については一般のスクールカウンセラーが23人と、オンラインスクールカウンセラー1人を見込んでいる。各学校への派遣については、各小中学校に週1回から2回の派遣を予定している。

環境厚生

議案第17号 令和8年度平塚市一般会計予算

問 社会福祉総務費のこころと命のサポート事業について、講演会の内容を伺う。

答 中学校5校で実施している中学生向けの生き方、命の大切さを学ぶ内容となっている。

問 障害者福祉費の障がい者就労支援事業の増額理由を伺う。

答 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの利用やニーズの増加に対応し、支援するための増額である。

議案第23号 令和8年度平塚市病院事業会計予算

問 職員貸付金の看護師奨学資金貸与事業について、看護師採用者を増やすため、奨学金の貸付及び貸与を行っているが、看護師の採用は増えているのか伺う。

答 奨学金の貸付及び貸与により、確実に看護師の採用につながっている。年度によって採用人数は異なるが、毎年平均して5人程度が採用されている。